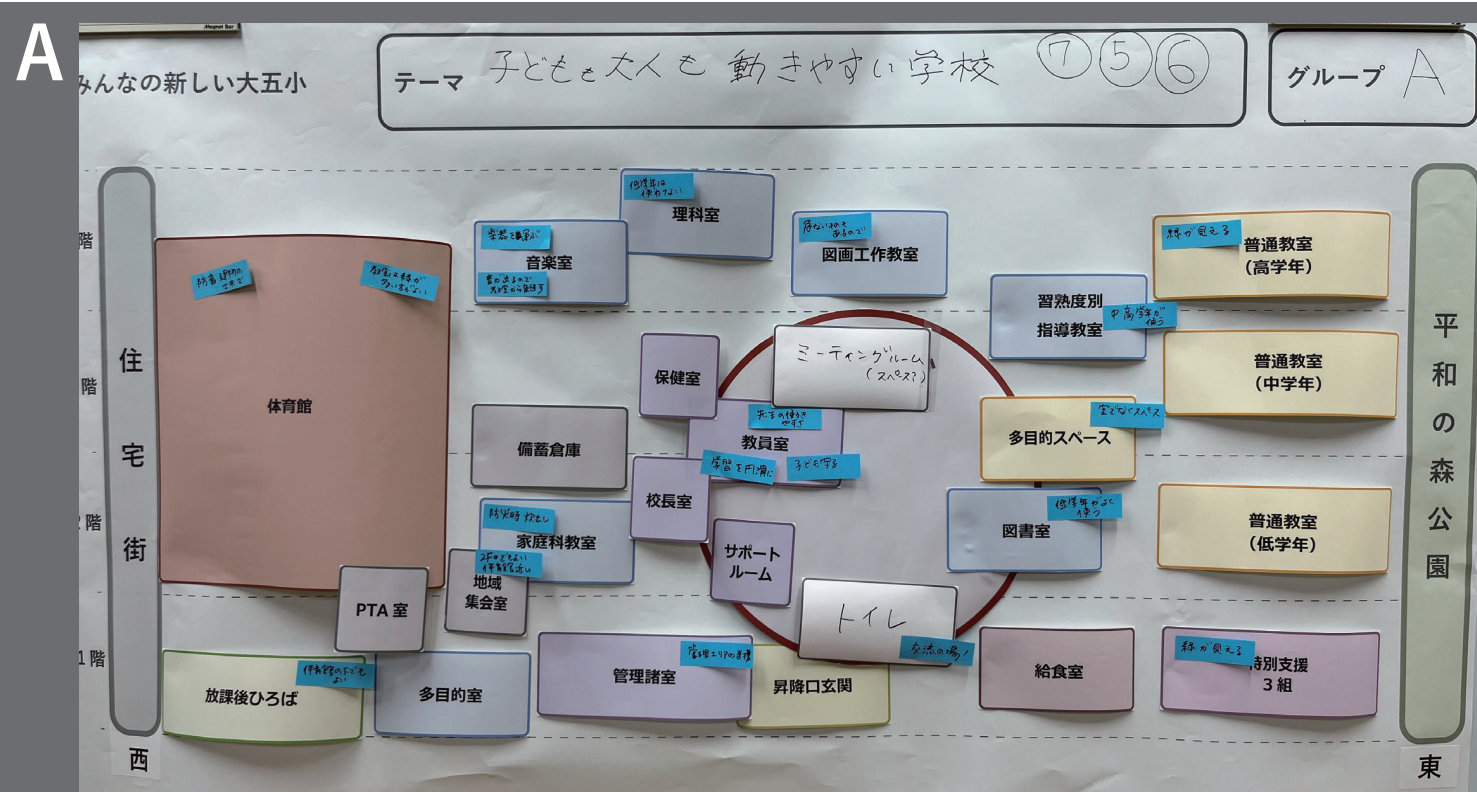
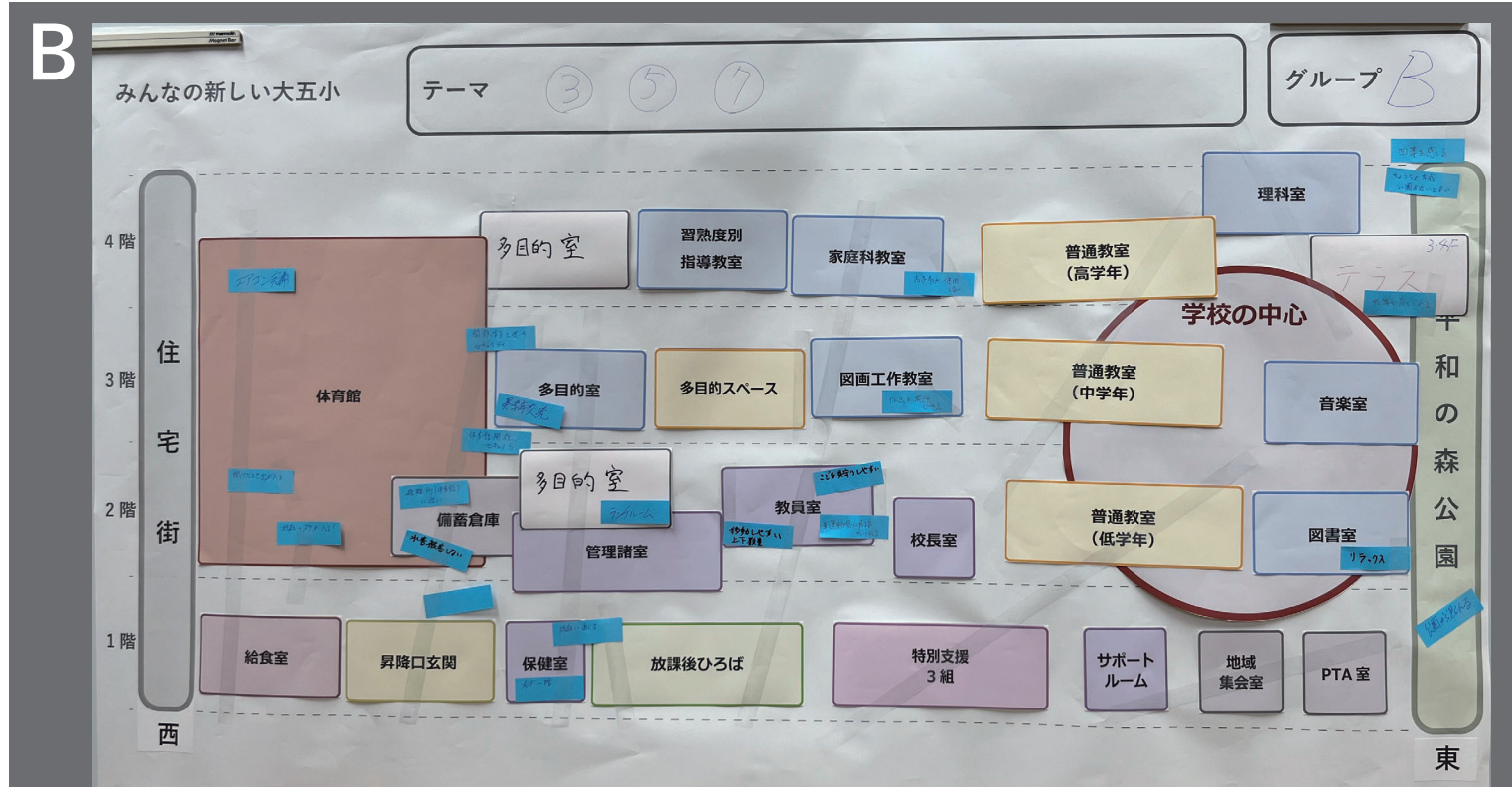


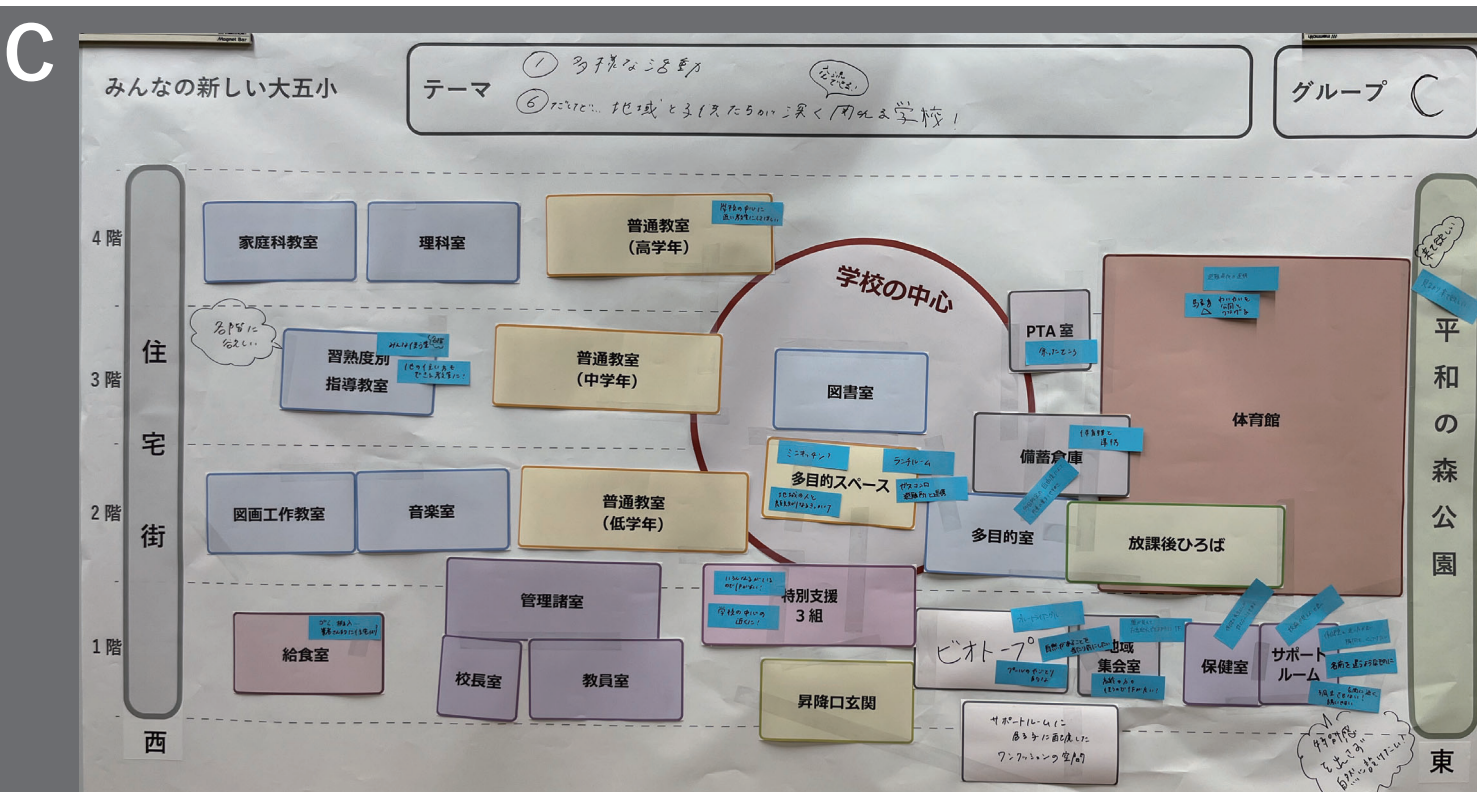
第2回学校づくりワークショップ②まとめ



- ・窓から緑が見えるよう普通教室、特別支援教室を配置。体育館は住宅街側で防音の工夫を建物とする。
- ・学校の中心に教員室を配置して、先生の働きやすさに配慮、こどもたちを見守れる計画。
- ・体育館と備蓄倉庫に加えて2階に地域諸室や家庭科室を配置して防災時の連携のしやすさに配慮。
- ・交流の場としてトイレやミーティングルームを計画。
- ・低学年がよく使う図書室は2階、中高学年がよく使う理科室、習熟度別指導教室は3,4階に配置。



- ・学校の中心を公園側に配置して公園と学校の中心がつながる計画。
- ・公園側には特別教室を配置し、3,4 階にはテラスを設けて教科と連携した屋外活動ができる想定。
- ・体育館はエアコン完備で窓を開けない想定、窓を開けると砂や虫が入るのでは？
- ・教員室を2階に配置して先生の下移動の負担を減らし、児童との距離を近くすることのできる配置。
- ・各階に多目的室を計画してランチルームや異学年交流の場、将来の教室増の際に活用を想定。



- ・学校の中心に多目的スペースを設けて教室や地域、特別支援3組もそこに顔を出せるような計画。
- ・避難等の際に連携できるように体育館を公園側に配置。公園には実際に行ってほしい。
- ・ビオトープを計画して公園の自然を学校に引き込みたい。プールでやっていた「ヤゴ取り」ができるような。
- ・保健室とサポートルームを一体的に計画。 ・習熟度別指導教室はみんなで使って他の活動にも使える 想定。
- ・給食室はゴミや搬入など業者さんにも配慮して住宅側に計画。

1.WS の総括

テーマ ……⑤「クラスや学年を超えた交流スペース」や⑥「地域が使いやすい学校」、⑦「公園側にどんな部屋・スペースがあるといい？」が複数グループから選ばれた。

学校の中心・・・図書室がすべてのグループから、多目的スペースの要望が多くあげられた。その他に教員室・普通教室・音楽室・トイレという意見もあげられた。

普通教室・・・各グループとも、2階～4階にまとまりある配置としていた。多目的スペースや学校の中心の近くに配置する提案もあった。

特別教室・・・2～4階で学年毎に利用しやすい階に対応した配置となっていた。（高学年が使う理科室は4階など）

体育館・・・各グループとも２階に配置していた。（備蓄倉庫は体育館に隣接配置。）位置は公園側と住宅側の両方の意見があげられ、家庭科室や教員室を２階に配置して避難所運営時に連携しやすいようにという意見もあった。

地域利用・・・体育館や地域集会室等を利用したいという意見があり、近接して配置する意見があげられた。

2. ワークショップの意見から平面のゾーニングにつながるポイント

①1番大きい面積が必要な「体育館」の位置と公園側に配置する部屋は何か？
→今回の計画で考えられる体育館の配置をゾーニング比較表で計5パターンで比較した。

②「学校の中心」に置く部屋と連携をとる諸室の配置は何がよいか？
→どのような活動が想定される部屋が「学校の中心」にあり、建物のどこに作れるかを検討した。

③大五小らしい、あったら良い部屋・スペースの検討
→コンセプト・施設整備方針との関連を深めて、今後設置の検討を行う。